

空知のくらし

■ 保健医療

空知管内では、南空知、中空知、北空知の3つの第二次保健医療福祉圏域を設定し、「安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」に向け、各圏域がそれぞれ策定した地域医療構想や北海道医療計画地域推進方針、「すこやか北海道21」の行動計画などを踏まえ、医療機能の整備、結核・感染症（新型コロナウイルス感染症を含む）等の予防、精神保健福祉対策、高齢化社会を見据えた地域の健康づくり、市町村の介護予防事業への支援、食の安全や生活衛生の確保などを進めています。

こうした中、医療については、各圏域の地域センター病院として位置づけられた岩見沢市立総合病院、砂川市立病院、深川市立病院をはじめとする公的医療機関や民間医療機関により、必要なサービスが提供されており、中空知圏域では、砂川市立病院を中心として6自治体病院（市立芦別病院、あかびら市立病院、滝川市立病院、歌志内市立病院、奈井江町立国民健康保険病院）の施設間で診療情報を共有する『そら・ねっと（中空知医療連携ネットワークシステム）』も平成28年7月から運用されています。

一方、医師をはじめとする医療従事者の不足・偏在や医療の高度・専門化が進む中、発症から在宅医療に至るまで、切れ目のない医療を提供するため、医療機関の適切な役割分担と連携体制の構築を進めており、その一環として、岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の再編・統合や老朽改築（建替等）による病床削減・機能転換等の見直しが進められています。

■ 社会福祉

平成12年度からスタートした介護保険制度により、介護を必要とする方が安心して暮らしていけるよう、様々な取り組みを進めるとともに、高齢者の方の自立した生活につながる市町村の取り組みを支援しています。

また、障がい者に関する差別、虐待、権利擁護に関する申立等について協議するため、平成22年4月から「空知圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」を設置すると共に、障がい福祉サービスの総合的な提供体制を図るため、福祉、保健、医療、教育、労働など関係分野の連携のもとに各種の取組を進めています。

さらに、安心して子育てができる環境づくりのため、保育所や地域子育て支援センターの整備を促進しています。

◆ 保健医療施設（令和5年1月1日現在）：全道令和4年10月1日現在）

区分	病院	診療所	歯科診療所
管内	39	186	164
南空知	17	109	92
中空知	17	55	55
北空知	5	22	17
全道	538	3,488	2,835



岩見沢市立総合病院（岩見沢市）

◆ 高齢者人口の推移（老年人口（65歳以上）の割合、国勢調査、令和2年は令和2年1月1日現在の住民基本台帳による。）

